

一 般 質 問 通 告 書

平成 31 年 3 月定例会 (No.1)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
1 野村広志	1 本庁舎移転について	(1) 本庁舎を現在の志布志支所に移転する基本方針が示され、市民説明会が3地区で開催された。そこで、改めて市長の考えを問う。 ① 本庁舎移転の考え方について ② 段階的移転計画について ③ 新行政組織について ④ 移転に向けたタイムスケジュールについて ⑤ 移転に係る予算について	市 長
	2 農業政策について	(1) 豚コレラが1府4県に拡大している。本市の養豚農家からも心配する声が聞かれる。そこで、家畜伝染病に対する防疫マニュアルの整備状況について問う。	市 長
2 小野広嗣	1 施政方針について	(1) 先手管理について 行政サービスの効率化と現場第一主義の徹底を図るための4つの行政経営指針の4番目の、言われてからの後追い対策ではなく言われる前に対策を講じる「先手管理」については、会派で兵庫県小野市の取り組みを学び、大変参考になった。本市の取り組みの現状について問う。	市 長
		(2) 「関係人口」について 地域や地域の人々と多様に関わる「関係人口」に着目し、都市住民が本市との継続的なつながりを持つ機会ときっかけづくりを提供することで、地域外の人材から知恵や力がもたらされるよう取り組むとあるが、今後の具体的な展望について問う。	市 長
		(3) 「食」のまちづくりとにぎわいのある商店街づくりについて ご当地グルメの市内外への情報発信やその活動の支援、新たなグルメ発掘を探りながら「食」のまちづくりとにぎわいのある商店街づくりに努めるとあるが、市長のイメージする「食」のまちづくりとにぎわいのある商店街づくりについて問う。	市 長
		(4) 幼児教育の無償化について 本年10月から実施予定の幼児教育無償化の対象外となっている住民税課税世帯の0歳児から2歳児について、市独自の保育料軽減策の検討を進めるとあるが、少子化対策の観点からも市単独で無償化を図るべきではないか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成 31 年 3 月定例会 (No.2)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
2 小野広嗣	2 歩くまちづくりについて	(1) 会派研修で訪れた兵庫県加西市は、高齢になっても地域で元気に暮らせる「健幸」都市を目指して、平成27年4月に「加西市歩くまちづくり条例」を制定し、平成28年3月には、「加西市歩くまちづくり推進計画」を策定し、住んでいるだけで歩いてしまうまちづくりに取り組んでいた。本市でも、「住んでいるまちを歩くこと」をまちづくりのビジョンの一つと捉え、「健幸」都市を目指すべきではないか。	市 長
	3 児童虐待防止対策について	(1) 近年、児童虐待事案が急増している。虐待から子供の命を守るためには、子供の異変に早期に気付き、虐待の芽を摘むことが何よりも重要であり、そのためには児童相談所のみならず関係機関・民間団体等が協同し、孤立している子育て家庭全体を支援することが必要である。児童虐待防止に関する本市の取り組みについて問う。	市 長 教育長
3 八代 誠	1 本庁舎移転について	(1) 「志布志市本庁舎移転基本方針」を示した、本庁舎移転検討委員会の設置手法について問う。	市 長
		(2) 現在の志布志支所における、防災上の課題やリスクについて、認識を問う。	市 長
		(3) 基本方針にある段階的移転計画（短期・中期・長期）の詳細（移転内容・時期・環境整備・その他）について問う。	市 長
4 岩根賢二	1 本庁舎移転について	(1) 先般、市内3か所で行われた本庁舎移転説明会での、市民の声をどのように受け止めたか。 (2) 本庁舎の移転について、市民が抱えている疑問に対して、より丁寧に応えて行くべきではないか。 (3) 市長の政治理念でもある「市民目線で市民が主役のまちづくり」の観点から、本庁舎移転については、今一度立ち止まって考えてみてはどうか。	市 長 市 長 市 長
	2 政治姿勢について	(1) 市長が掲げている公約の中で、本庁舎移転の次の事業展開をどのように考えているか。	市 長
5 南 利尋	1 施政方針について	(1) 「志布志市も今まさに形成期から発展、そして成熟期へ大きく移り変わろうとしております。」とあるが、どのような観点から成熟しつつあると考えるのか問う。	市 長
	2 観光振興について	(1) 平成30年12月定例会の一般質問において「観光振興計画の数値目標達成のため、スポーツ合宿を柱に努力していく」との答弁があった。「スポーツ合宿」だけではなく、「歴史のまちづくり」や「ダグリ岬周辺の観光振興」も含め、三本柱として取り組むべきではないか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成 31 年 3 月定例会 (No.3)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
6 尖 信一	1 環境行政について	(1) 「志布志市環境基本計画」については、31年度に最終年度を迎えるが、次期計画に全国の各自治体で問題になっている高レベル放射性廃棄物の最終処分場や中間貯蔵施設の整備予定地選定に係る方針等を盛り込むことや、条例化を検討する考えはないか問う。	市 長
	2 医療行政について	(1) 医療機関体制や医師の確保が問題になっているが、本市のこれまでの取り組み状況について問う。併せて、近隣自治体との曾於地域医療確保対策協議会の取り組み状況について問う。	市 長
	3 行財政改革について	(1) 施政方針の中で、「施策や事業の選択と集中を図りながら効率的で質の高い行財政運営を推進する」とあるが、具体策を示せ。 (2) 本庁機能の移転に伴い、業務軽減のための改革を連動させて実施する考えはないか問う。	市 長 市 長
7 平野 栄作	1 鳥獣害対策について	(1) 全国的に有害鳥獣の被害が増加傾向にあり、その被害状況については、中山間地域での農作物被害に加え、鳥獣によっては人家近くへの出没により人的被害の発生が危惧されるような状況も散見される。これまで、本市議会でも複数の議員から一般質問があり、本市において喫緊の課題となっている。本課題の解決に向け、数箇所の自治体の取り組み状況を視察研修したが、本市の今後の取り組みについて以下の点を問う。 ① 農作物被害の状況についてどのように分析しているのか。 ② 市単独事業として、新たに考えている対策があるのか。 ③ 国の交付金の活用は考えていないのか。	市 長
	2 新庁舎建設等について	(1) 現在の本庁、各支所の3庁舎については、20年から30年後には耐用年数が到来し、建て替え、改修に関わらず短期的に莫大な経費が集中することが予想されることから、それらに備えた取り組みを実施していく必要性を感じる。今後、長期的な計画が策定されていくとは思いますが、現市長として将来の志布志市を想定したとき、市役所のあるべき姿(本庁の位置、支所の数等)をどのようにイメージしているのか。また、現時点から早急にこの課題に着手するべきだと思いが、どのようなスケジュールを考えているのか。	市 長
8 玉垣大二郎	1 防災対策について	(1) 「志布志市津波防災地域づくり推進計画」、「津波避難対策緊急事業計画」は、どのように市民に告知し、活用していくのか問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成 31 年 3 月定例会 (No.4)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
8 玉垣大二郎	1 防災対策について	(2) 災害時において消防団の担う役割は大きいですが、消防団員とどのように連携しているのか問う。	市 長
	2 環境対策について	(1) 不法投棄の現状と対策について問う。 (2) 過剰包装の抑制、レジ袋有料化に再度取り組む考えはないか問う。	市 長 市 長
9 持留 忠 義	1 本庁舎移転に関する取り組みについて	(1) 市民説明会が 1 月下旬から 2 月上旬にかけて、志布志、松山、有明で開催されたが、市民からの質問や意見をどのように受け止めたのか問う。 (2) 本庁舎移転に関する民意を把握するための住民投票を行う考えはないか問う。 (3) 財政状況が厳しい中で、本庁舎移転に伴う予算の確保をどのように考えているのか問う。 (4) 志布志支所への移転に伴う津波対策をどのように進めるのか問う。	市 長 市 長 市 長 市 長
	2 有害鳥獣対策について	(1) 平成31年 1 月末時点での有害鳥獣の捕獲数と被害状況について問う。 (2) 有害鳥獣の捕獲については、銃器やわなが主であると思うが、手法ごとの従事者数と捕獲実績について問う。 (3) 捕獲した有害鳥獣の解体処理施設の設置について、隣接市町と連携した事業推進はできないのか問う。	市 長 市 長 市 長
10 丸 山 一	1 空き地対策について	(1) 市内には所有者不明の土地が数多く存在すると思われるが、どのように把握しているのか。また、安全上の対策を講じる考えはないか。 (2) 所有者不明の土地があることで、公共工事の実施に支障を来していると考えるが、対応策を急ぐ考えはないか。 (3) 空き地から道路への倒木により、通行の妨げになるなど市民からの伐採要望も多い。高所作業車を導入し迅速に対応する考えはないか。	市 長 市 長 市 長
	2 親水公園の整備について	(1) 志布志市臨海工業団地 5 工区の一部に、子どもたちが自然とふれあえる親水公園を整備する考えはないか。	市 長
11 青山 浩 二	1 本庁舎移転計画について	(1) 本庁舎移転基本方針の具体的内容について問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成 31 年 3 月定例会 (No.5)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
11青山浩二	1 本庁舎移転計画について	(2) 平成30年12月に本庁舎移転に関する基本方針を示し、同21日に市まちづくり委員会で説明会を開催された。また、平成31年1月31日に志布志地域で、2月4日に松山地域、同5日には有明地域で市民説明会を開催されたが、賛成意見、反対意見ともに様々な意見が出た。市民目線の立場からどのように受け止め、どのように活かしていくのか問う。	市 長
12小 辻 一 海	1 高齢者福祉対策について	(1) 介護保険制度の改正内容について問う。 (2) 地域包括ケアシステム構築後の本市の取り組み状況について問う。	市 長 市 長
	2 交通弱者対策について	(1) 高齢者の運転免許証返納について問う。 ① 高齢者の交通事故状況について ② 運転免許証の返納状況について ③ 返納後の高齢者への支援策について (2) 地域公共交通網の形成について問う。 ① 公共交通（路線バス・リムジンバス・さんふらわあライナー・福祉タクシー）の利用状況について ② 地域公共交通網形成計画の目的と考え方について	市 長 市 長
	3 本庁舎移転の基本方針について	(1) 説明会を終えての課題・問題の認識と市民からの質問、意見、要望への対応について問う。 (2) 志布志支所が市民が求める安心・安全な防災拠点としての機能や役割を果たせるのか問う。	市 長 市 長
13鶴迫京子	1 施政方針について	(1) 平成31年10月から実施予定の幼児教育無償化における対象外の住民税課税世帯の0歳児から2歳児について市独自の保育料軽減策の検討を進めるとあるが、具体的内容について示せ。 (2) ひとり親家庭医療費助成事業及び重度心身障害者医療費助成事業の申請方法について、平成31年10月から簡素化を図るとあるが、これまでの経過と簡素化後の申請方法を具体的に示せ。 (3) 若者の定住促進について、結婚希望者への支援体制を構築するとあるが、兵庫県加西市では「出逢いサポートセンター」を開設し取り組んでいた。本市でも取り組む考えはないか。 (4) 65歳を対象とした新たなライフスタイル創造の契機づくりとして、兵庫県小野市では第2の成人式「エイジ・ルネサンス」事業に取り組んでいた。関係人口創出のため、本市においても取り組む考えはないか。	市 長 市 長 市 長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

平成 31 年 3 月定例会 (No.6)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
13鶴迫京子	2 人権擁護について	(1) いじめ・虐待・DV・男女共同参画・人権啓発等の情報の一元化による迅速な対応を行うため、兵庫県小野市にならって「いじめ等防止条例」を制定する考えはないか。	市 長 教育長
14小園義行	1 国保について	(1) 国保運営の現状をどのように受け止めているのか。 (2) 均等割を見直して負担の軽減を図る考えはないか。	市 長 市 長
	2 個人情報の保護について	(1) 国から要請のある自衛官募集について、どのように対応しているのか。	市 長
	3 公共事業について	(1) 入札中止が数多く発生している原因をどのように受け止めているか。	市 長
		(2) 地域循環型経済を活性化するため、公契約条例を制定する考えはないか。	市 長
	4 商業振興について	(1) 小規模企業振興基本法に基づき、小規模企業の振興に関する条例を制定し、本市の諸条件に応じた施策を展開し、小規模事業者の振興を図る考えはないか。	市 長
5 学校教育について	(1) 重たいランドセル問題について、国の通知はどう具体化されているのか。また、そうした状況になっていることの大きな要因をどのように考えているか。	教育長	

一 般 質 問 通 告 書

令和元年6月定例会 (No.1)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
1 野村広志	1 行財政運営の健全化について	(1) 厳しさを増しつつある行財政運営の中で、歳入歳出予算の考え方と健全化に向けた具体的な取り組みについて問う。 (2) ICTの利活用による業務の効率化と歳出削減策について問う。 (3) 電力自由化に伴う再生可能エネルギーの推進について、調査・研究を進め情報収集すると以前答弁しているが、その後の進捗状況について問う。 (4) 本年10月より消費税が10%に引き上げられる予定の中、市財政への影響と対応について問う。	市 長 市 長 教育長 市 長 教育長 市 長
	2 働き方改革について	(1) 本年4月から、働き方改革関連法が順次施行されている。本市における推進状況について問う。	市 長 教育長
2 小野広嗣	1 コンパクトシティ構想によるまちづくりについて	(1) コンパクトシティ構想は、徒歩や自転車、公共交通による移動性を重視し、さまざまな機能を各地域に集約させた都市形態をいい、持続可能なまちづくりや都市機能の効率化、さらには地域の活性化という考え方を背景にしているが、本市も今後のまちづくりを推進する上で、コンパクトシティ構想を導入する考えはないか問う。	市 長
	2 歴史のまちづくりの推進について	(1) 文化庁は5月20日、地域の有形・無形の文化財をテーマでまとめ、魅力を発信する「日本遺産」に、鹿児島県の「薩摩の武士が生きた町～武家屋敷群『麓』を歩く」などを新たに認定し、志布志麓も認定された。本市の今後の歴史のまちづくりの推進の在り方について問う。 (2) 歴史的価値の高い建物を活用しつつ保存する事例が各地で増えており、そうした動きを公的に後押しする内容を盛り込んだ「改正文化財保護法」が、昨年6月に成立し、本年4月に施行されたが、文化財保存活用地域計画策定や日本遺産との連携性について、今後の本市の考え方を問う。	市 長 市 長
	3 SDG s について	(1) 先進国を含む国際社会全体が2030年までに達成すべきとして、2015年国連で採択された貧困の撲滅や気候変動対策など17項目からなる国際目標、すなわち持続可能な開発目標であるSDG sは、日本でも2016年に推進本部を設け各自治体に取り組みを促しているが、本市はどのように認識しているのか問う。	市 長 教育長

一 般 質 問 通 告 書

令和元年6月定例会 (No.2)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
2 小野広嗣	4 教育行政について	(1) 新しい学習指導要領として文部科学省が示している、アクティブラーニングの視点からの授業改善をどのように捉えて対応しようとしているのか。併せて全面実施に向けた課題をどのように考えているのか問う。	教育長
3 尖 信一	1 人材確保と育成について	(1) 市長は常々ヒト・モノ・カネ・情報が交流することで、雇用の創出などまちの持続的な発展につながる大きな効果が発生すると述べている。人口減少や労働者不足が懸念される中で、本市職員の適正人員数をどのように計画しているか。また、採用後の人材育成研修について問う。	市 長
	2 環境行政について	(1) 「使用済み紙おむつ」の再資源化事業については、多くの初期投資のほか継続的な費用が見込まれるが、今後の事業展開について問う。	市 長
	3 教育行政について	(1) 来年度から始まる小学校高学年での英語教育及びプログラミング教育の準備段階である現状において、すでに都市部と地方で格差が生じていると指摘されている。本市での取り組み状況について問う。	教育長
4 平野栄作	1 水道事業における漏水対策及び関連業者との連携について	(1) 水道法が改正されたことを受け、様々な点で議論が高まってきている。本市の水道事業については、公営で維持していくという市長の見解も示されている。円滑な運営を継続するためには、水道工事業者との連携が今後も必要であると考えるが、以下の点について問う。 ① 各地区で設定される水道当番店の負担感が増しているのではないか。 ② 漏水が発生した場合の連絡の在り方はどのようになっているのか。 ③ 水道工事業者が抱える課題等をどのように認識しているのか。	市 長
	2 山重幼稚園の運営について	(1) 近年共働き世帯が増える中、早い段階で保育所等に子供を預ける家庭が増えてきているように感じる。民間の施設ではこのようなニーズに応えるべく、幼保連携型認定こども園等へ移行するケースが増えているが、以下の点について問う。 ① 近年の園児数の推移を示せ。 ② 認定こども園等への移行は考えていないのか。 ③ 今後も公営で運営していくのか。	市 長 教育長
5 南 利尋	1 本庁舎移転計画について	(1) 日本国憲法、地方自治法、志布志市議会基本条例に鑑みると、移転は妥当であると考ええる。法的な観点から、改めて市民への説明も必要ではないか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和元年6月定例会 (No.3)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
5 南 利 尋	1 本庁舎移転計画について	(2) 市長はまちづくりに対するグラウンドビジョン(基本構想)をどのように考えているか。	市 長
	2 インバウンド対策について	(1) グローバル社会の中で、交流人口や関係人口を増やすには、本市でも日本語学校など各種学校の設立も検討すべきではないか。	市 長
	3 ごみ処理対策について	(1) 資源ごみの収集日を増やす考えはないか。 (2) 資源ごみの収集場所となっている市駐輪駐車場の管理状況について。 (3) 新たなごみ処理システムを構築する考えはないか。	市 長 市 長 市 長
	4 観光振興について	(1) 志布志港旅客船埠頭(観光船バース)の景観の維持管理については、これまでも質問し、管理者である県と密に連携を図るとのことであったが、依然として管理が行き届いていないように感じる。現状をどのように考えているか。 (2) 本市の観光拠点でもあるダグリ岬周辺の景観維持について、旧夏井荘は解体されたがその他の老朽化した施設等の現状と対策についてどのように考えているか。	市 長 市 長
6 青山浩二	1 本庁舎移転計画について	(1) 令和元年5月15日の全員協議会で志布志支所の庁舎内視察を行い、21日の全員協議会で本庁舎移転計画の変更案が示された。 前回の定例会終了後、様々な視点からの協議を踏まえた変更案だと思うが、この本庁舎移転計画の具体的内容について問う。	市 長
7 市ヶ谷孝	1 本庁舎移転基本方針について	(1) 本年5月に改訂された「志布志市本庁舎移転基本方針」について、市長の考えと創出されるまちのイメージを問う。	市 長
8 鶴迫京子	1 いじめ等防止条例について	(1) 本年3月定例会の一般質問において、いじめ等防止条例の制定については、しっかり策定するとの答弁であったが、その後の進捗状況はどのようになっているか。	市 長 教育長
	2 安全確保について	(1) 池袋暴走事故、大津園児死傷事故など、弱者と呼ばれる幼い子供たちを含む尊い命が奪われている。このことについての見解を問う。 (2) 通学・通園路での危険回避や交差点での注意喚起など、子供たちの命を守るための安全対策について問う。 (3) 平成30年6月定例会において、ゾーン30の推進について質問したが現状はどうか。	市 長 教育長 市 長 教育長 市 長 教育長

一 般 質 問 通 告 書

令和元年6月定例会 (No.4)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
8 鶴迫京子	3 公園について	(1) 平成30年6月定例会において、安楽地区に公園を整備して欲しいと一般質問したが、その後の検討状況について問う。	市 長
9 小園 義行	1 国保について	(1) 均等割を見直して負担の軽減を図る考えはないか。	市 長
	2 福祉行政について	(1) 放課後児童クラブと放課後等デイサービスについて基本的な考えを問う。	市 長 教育長
	3 敬老祝金について	(1) 現在の節目支給を見直して、75歳以上全員に支給する考えはないか。	市 長
	4 職員の勤務の在り方について	(1) 本市のパワーハラスメントやセクシュアルハラスメント等に対する認識と現状を問う。 (2) 平成29年12月定例会で質問をしたが、その後の対応を問う。	市 長 教育長 市 長 教育長
	5 政治姿勢について	(1) 本庁移転に関する条例改正が提案されているが支所の在り方等を含めた議論が十分にされての提案と受け止めてよいか。	市 長



一 般 質 問 通 告 書

令和元年9月定例会 (No.6)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
2野村広志	1 防災行政全般について	⑥ 子供たちの安全確保について問う。 ⑦ 緊急時における職員の人員体制について問う。 ⑧ 消防団員の活動範囲について問う。 ⑨ 防災マニュアルの検証について問う。 ⑩ 想定を超える災害での教訓について問う。	市 長 教育長
3長岡耕二	1 地域医療の現状について	(1) 地域医療の確保については、曾於地域及び大隅地域4市5町の枠で協議会が設置されているが、それぞれの協議の進捗状況について問う。 (2) 曾於地域における2次医療圏域別の疾患完結率については、高度急性期、急性期、回復期、慢性期のいずれにおいても県内の他地域に比較し、低い状況である。現状をどのように認識しているのか問う。 (3) 医師不足はもとより、看護職員の不足も課題となっているが、看護職員確保に向けた具体的な対応は考えていないのか問う。	市 長  市 長  市 長
4尖 信一	1 港湾振興について	(1) 志布志港は国際バルク戦略港湾に指定され、岸壁拡張や高速道路等の供用開始に伴いますます発展が見込まれるが、更なる発展のための課題や、行政としての新たな取り組みをどのように考えているか問う。	市 長
	2 河川の問題について	(1) 本市のごみリサイクルは市民の協力の下、全国から高い評価を得ている。しかし、市内河川の汚染はますます悪化してきているように感じる。その原因とこれまでの対策をどのように認識しているか。また、今後取るべき改善策をどのように計画しているか問う。	市 長
	3 都市計画について	(1) 本庁移転や各種道路の供用開始が進む中、新たなまちづくり計画が必要であると考え。本市の都市計画の根幹をなす用途地域の区割りや、基準等を抜本的に見直す時期に来ていると考えるがどうか。併せて、賑わいあるまちづくりに必要な規制緩和等はないかを問う。	市 長
	4 学力向上について	(1) 本年度実施された全国学力・学習状況調査の結果から、本市中学校全体の学力をどのように評価しているか。また、これまで学力向上のために取り組んできた施策による効果をどのように捉えているか。併せて、今後、学力向上に向けた新たな取り組み等があるのか問う。	教育長
5小辻一海	1 有害鳥獣被害対策について	(1) 昨今、過疎・高齢化に伴う耕作放棄地の増加などにより生息域が拡大している有害鳥獣被害の過去3年間の被害状況・金額と捕獲実績について問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和元年9月定例会 (No.7)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
5小辻一海	1 有害鳥獣被害対策について	(2) 平成29年度に「志布志市鳥獣被害防止計画」が策定されているが、本市の鳥獣被害対策の基本的な考えと鳥獣別捕獲計画数の具体的な目標数値について問う。 (3) 報奨金の市単独負担分を引き上げる考えはないか問う。	市 長 市 長
	2 インバウンド戦略について	(1) 鹿児島県を訪れる外国人旅行者の実態と本市の現状について問う。 (2) 近年、増加が続く訪日外国人旅行者受け入れに向けた取り組みについて問う。	市 長 市 長
6南 利 尋	1 財政改革について	(1) 施政方針において示された「入るを量りて出ざるを制す」の下、取り組んでいる財政改革の進捗状況について問う。 (2) 新たな自主財源確保の現状と今後の取り組みについて問う。	市 長 市 長
	2 観光振興について	(1) ダグリ岬周辺への観光客誘致に向け、スピード感ある新たな事業への取り組みが必要ではないか問う。	市 長
7八代 誠	1 防災・減災対策について	(1) 本年6月末から7月初旬にかけての豪雨被害への本市の対応について問う。 ① 避難勧告・避難指示の手法及び避難所の在り方と運営等について。 ② 法面崩壊に伴う道路の通行に支障のある崩落土等の処理の現状と、今後予想される南海トラフ地震発生時の廃棄物処理について。	市 長
		(2) 現在策定中である本市の「国土強靱化地域計画」の進捗状況と在り方について問う。	市 長
		(3) 「地域防災マネージャー制度を活用した退職自衛官の雇用」について問う。	市 長
8福重彰史	1 道路行政について	(1) 県道柿ノ木・志布志線、弓場ケ尾地区の拡幅改良計画の現状と見通しについて示せ。 (2) 県道塗木・大隅線、宮下地区の改良計画の進捗状況はどのようになっているか示せ。	市 長 市 長
	2 定住促進対策について	(1) 少子高齢化が進む中、人口減少に歯止めがかからないが現状をどのように捉えているか示せ。 (2) 定住促進へ向けて、新たに分譲地を造成すべきと考えるがどうか。	市 長 市 長
	3 敬老祝金について	(1) 現在の支給の在り方をどのように考えているか示せ。 (2) 節目支給を見直す考えはないか。	市 長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和元年9月定例会 (No.8)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
8 福重彰史	4 森林行政について	(1) ここ数年、木材需要の高まりを背景に人工林の伐採面積が猛烈に伸びている一方で、防災上の懸念が高まっている。本市の人工林の総面積と2018年度に提出された伐採届、伐採及び再生林の面積について実績を示せ。	市 長
		(2) 林地荒廃や防災等に対応するため伐採届の厳格化が必要だと思われるが、考え方を示せ。	市 長
9 小園義行	1 保健行政について	(1) 国保運営の2018年度決算の状況を問う。	市 長
		(2) 子育て世帯の負担軽減として均等割の見直しは考えられないか。	市 長
		(3) 施政方針でフッ化物洗口の事業を実施したいとの方針が示され、現在、保育所、幼稚園で始まっている。その現状と今後の対応を問う。	市 長
	2 福祉行政について	(1) 本年10月から実施される3才から5歳児の幼児教育・保育の無償化に伴う給食費の実費徴収化に向けての対応を問う。	市 長
		(2) 本市として給食費の無償化に向けて減免等助成の考え方を問う。	市 長
	3 情報管理の在り方について	(1) 国がマイナンバーカードの取得を推進する方針を決め、地方公務員に関し、本年6月5日と28日付で通知を出している。本市の対応と現状を問う。	市 長 教育長
10 鶴迫京子	1 国際の森について	(1) 平成20年6月、平成30年9月の定例会において、陣岳の国際の森について質問しているが、その後の対応の進捗状況について示せ。	市 長
		(2) 国際の森を拠点とした人と人とのつながりを創出するため、「地域おこし協力隊」や「関係人口の創出」などの関係事業を絡めて、その先進地である高知市の土佐山アカデミーから学ぶ考えはないか。	市 長
11 東 宏二	1 定住対策について	(1) 奨学金の返還支援による定住対策の実施について。	市 長 教育長
		(2) 地元就業が想定される学生を対象に奨学金を創設し、地元就業を条件に返還を免除することで地元雇用の促進していく考えはないか。	市 長 教育長
	2 観光行政について	(1) 夏井・陣岳地域に所在する市有林の観光資源としての活用について。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和元年 12 月定例会 (No.9)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
1 小野 広 嗣	1 高齢ドライバーの事故防止対策について	(1) 本年 4 月、東京都の池袋で 87 歳の高齢者が運転する車が暴走し、母子 2 人が亡くなり、10 人が負傷した事故以降も高齢ドライバーによる事故が続いており、高齢ドライバーの安全対策及び安全運転支援の取り組みは待ったなしの課題である。本市の高齢ドライバー事故防止対策の取り組み状況について問う。	市 長
	2 地域公共交通政策について	(1) 地域公共交通網の充実と活性化を図り、運転免許を返納した後も、自分で買い物や通院、駅に行くなど、それまでの生活と変わらない、移動手段の確保を図るべきではないか。	市 長
		(2) 本年 3 月、志布志市地域公共交通網形成計画が示され、本市の地域公共交通の基本理念として、市民・交通事業者・行政が連携し、公共交通機関の連携が向上し、誰もがスムーズに市内を移動できる「移動網」を目指すとする。目標達成のために実施する事業を具体的に 20 件掲げているが、その進捗状況について問う。	市 長
	3 自転車の安全対策について	(1) 鹿児島県は、自転車保険に関する条例「かごしま県民のための自転車の安全で適正な利用に関する条例」を制定し、自転車保険への加入を義務付けている。本市の自転車保険加入促進の状況と自転車の安全対策について問う。	市 長 教育長
4 子供の貧困対策について	(1) 子供たちの将来がその生まれ育った家庭の事情等に左右されてしまう場合が少なくない状況の中、子供たちの養育環境を整備するとともに、教育を受ける機会の均等を図り、生活の支援、保護者への就労支援などと合わせて総合的に推進する必要があるが、本市の貧困対策への取り組み状況について問う。	市 長 教育長	
2 野 村 広 志	1 港湾行政について	(1) 港湾が所在する自治体として国際バルク戦略港湾の整備完了後の、志布志港の展望をどのように考えているのか問う。	市 長
		(2) 志布志港における輸出入の促進について市、民間事業者、港湾管理者間でどのような取り組みが進められているのか問う。	市 長
	2 商工業振興策について	(1) 国において小規模企業振興基本法が制定されている中、鹿児島県においても「中小企業の振興に関するかごしま県民条例」が改正され、施行されている。本市の商工業振興策について問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和元年12月定例会 (No.10)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
3 尖 信一	1 教育行政について	(1) 宮城県石巻市の大川小学校の津波被害をめぐる訴訟では、最高裁が市と県の上告を退け、遺族らの勝訴が確定した。子供を預かる教育行政に対し、高いレベルの災害対応が求められた司法判断となった。本市においては、沿岸部に位置する小学校や保育園等に通う児童・園児の安全確保に対し、今後どのような対策を取るのか問う。 (2) 従来の「暗記型学習」から、自ら課題を見だし解決していく「思考型学習」に大きく変わろうとしている。学校行事の一環としての修学旅行の在り方も見直す時期と考えるが、修学旅行を今後どのように「考える学習」に生かしていくのか問う。 (3) 軽微ないじめも積極的に認知されるようになり、全国のいじめ問題の件数は54万件と過去最高になった。本市におけるいじめ問題の件数や内容を把握しているのか問う。	教育長  教育長  教育長
	2 水産業の育成について	(1) 大分県佐伯市では、イワガキの養殖が大きな産業に成長している。本市における水産業の現状と、イワガキの養殖事業を今後どのように成長させていく考えか問う。	市 長
	3 公金の運用について	(1) 市長の公約の柱である「入るを量りて出づるを制す」の下、国の様々な補助金・交付金を利活用している。また、各種補助金はゼロベースでの見直しがなされている。一方、新たな財源確保に向けて、基金などの安全で有利な管理・運用は積極的になされていない。超低金利時代の中で、少しでも「入るを量る」ためにも、安全で確実な運用を行う考えはないか問う。	市 長
4 小園 義行	1 保健行政（国保）について	(1) 子育て世帯の負担軽減策として、第3子以降の均等割の見直しを図る考えはないか。	市 長
	2 福祉行政について	(1) 幼児教育・保育の無償化に伴い副食費の助成を実施する考えはないかとの質問に「全庁的な取り組みについて協議・検討したい」と答弁された。新年度に向けた取り組みについて問う。 (2) 敬老祝金を75歳以上の全対象者に支給するように見直す考えはないか。	市 長  市 長
	3 教育行政について	(1) 「志布志市いじめの防止等に関する条例」を提案されているが、内容について問う。	市 長 教育長
	4 会計年度任用職員について	(1) 新年度に向けての対応等を具体的に問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和元年12月定例会 (No.11)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
4小園義行	5 政治姿勢について	(1) 市長の退職金を受け取らないと公約されているが、具体的な取り組みについて問う。	市 長
5青山浩二	1 保健行政について	(1) 乳幼児期の虫歯予防のために、本年度よりフッ化物洗口を保育所・認定こども園で取り組んでいる。これまでの経過と現在の状況及び今後の対策を問う。 (2) 本年9月議会において、市長は「乳歯から永久歯が完全に生えそろう14歳頃までの継続した取り組みが重要と考えており、来年度、小学校でのフッ化物洗口の実施に向け取り組んでいく」と答弁している。現段階における準備状況、また、どのような形で実施していくのか問う。	市 長 市 長 教育長
	2 市役所本庁舎移転計画について	(1) 本年6月議会において、本庁舎移転計画のうち、短期計画（管理部門及び議会の移転）が可決された。一方、「本庁舎移転検討委員会」及び「本庁舎調査検討委員会」等で協議されるとした中長期計画の今後の進め方と情報提供の在り方について問う。	市 長
6南 利 尋	1 農業振興について	(1) 本市でも、大きな被害をもたらしている「かんしょ茎・根腐敗症」に対して、どのような対応を行う考えかを問う。 (2) 農産物の志布志ブランド化へ向け、今こそ6次産業への取り組み、販路開拓が重要だと思うが、考えを問う。	市 長 市 長
	2 地域医療について	(1) 本市の地域医療の現状をどう捉えているのか問う。 (2) 予防医療の観点からも、官・民一体となった取り組みが必要ではないか問う。	市 長 市 長
	3 観光振興について	(1) 本市の観光振興に対してのグラウンドビジョンについて問う。 (2) ダグリ岬周辺整備事業の進捗状況について問う。	市 長 市 長
	4 交流・関係人口について	(1) 交流・関係人口増加への取り組みについて問う。	市 長
7岩根賢二	1 窓口業務の改善策について	(1) 宮崎県都城市では、この11月11日から「おくやみ窓口」を設置し、死亡に伴う各種手続きについて遺族をサポートしている。本市でも同様の窓口を設置する考えはないか。また、転入・転出手続きについても同様の窓口を設置する考えはないか。 (2) 最近、窓口での対応についての苦情を耳にした。市民に優しい窓口へ改善すべきではないか。	市 長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和元年12月定例会 (No.12)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
7岩根賢二	2 ボランティア活動に対する支援策について	(1) 道路伐採等で、行政側で対処できない部分について、市民が自主的に作業を実施されるケースがある。そのような活動に対して、相応の支援をするための仕組みを考えられないか。	市 長
	3 危機管理対策について	(1) 11月5日に実施された地震・津波防災訓練の成果について問う。	市 長
		(2) 避難場所は現在のままでよいと考えているか。	市 長
		(3) 押切・通山地域の高台に避難するための施設を造る考えはないか。	市 長
4 来年度予算について	(4) 津波浸水深分布図や津波シミュレーション図の色彩を、色覚障がい者にも分かりやすい配色にする考えはないか。また、これらをジオラマ風に立体的に作成する考えはないか。	市 長	
	(5) 市民グラウンドは、ドクターヘリの離着陸場所からは除外されている。代替地を早急に設定すべきではないか。	市 長 教育長	
8丸山 一	4 来年度予算について	(1) 来年度は、令和3年1月1日の本庁舎移転に向けての予算が計上されると思う。その費用は必要最低限に抑えるべきと考えるが、見解を問う。	市 長
	(2) 市民の身近な要望、例えば公共交通網整備の早期実現や地域医療の充実、小・中学校の雨漏り補修等にに取り組む考えはないか。	市 長 教育長	
8丸山 一	1 市内の河川環境について	(1) 市内の河川は30年程前よりかなり汚染度が上がっているため、大人や子供が河川で楽しめるよう浄化対策を急ぐべきではないか。	市 長 教育長
	(2) 近年集中豪雨により堤防が決壊し、広範囲に冠水する事例が増えている。市内河川堤防の嵩上げを急ぐべきではないか。	市 長	
9持留忠義	2 普現堂池について	(1) 普現堂池に設置された水車が回り始めた。部品の欠損が見られるが、補修する考えはないか。	市 長
	(2) 下池には外来植物と思われる水草が広範囲にわたり繁茂している。除去する考えはないか。	市 長	
9持留忠義	1 県道の改良事業について	(1) 県道東原大崎線、志布志有明線、宮ヶ原大崎線の改良の現状と今後の見通しについて問う。	市 長
	2 山重幼稚園の今後について	(1) 来年度については、山重幼稚園の一時休園が示されたが、地域の声を踏まえ、再度検討する考えはないか。	市 長 教育長
	3 教育振興について	(1) 市内中学校の部活動の指導者の現状と、今後の方向性について問う。	教育長

一 般 質 問 通 告 書

令和元年12月定例会 (No.13)

質 問 者	件 名	要 旨	質問の相手方
9 持留忠義	4 茶業振興について	(1) 11月20日に行われた「鹿児島県茶業振興大会in志布志市」に市長も参加されたが、本市の茶業振興の現状をどのように捉えているか。  (2) 荒茶価格の低迷が続いているが、本年度の価格推移と、今後の支援対策について問う。	市 長  市 長
	5 鳥獣被害対策について	(1) 国内で感染が報告されている豚コレラについては、野生イノシシが媒介しているとの報道がされている。イノシシの頭数が年々増えている本市においても同様の被害が懸念されることから、捕獲対策の充実を図るべきではないか。  (2) わなの導入に対する助成はできないか。	市 長  市 長
10 鶴迫京子	1 津波対策について	(1) 施政方針にもある強靱な地域づくりを推進する「志布志市国土強靱化地域計画」策定の進捗状況について問う。  (2) 同様に、津波避難タワーの設置に向けた地元との調整、検討の進捗状況について問う。  (3) 香月小学校前の交差点改良事業に伴い、国道220号線の北側の歩道部分は新設される交差点内の横断歩道となり、避難に支障をきたすことが想定される。円滑な避難を確保するために、既存歩道橋に連結する形で新たに歩道橋を設置する考えはないか問う。	市 長  市 長  市 長